

設 立 趣 旨 書

1. 設立にあたり

「ビーチレスリングって何？」と思われる方が大半かと想像します。私こと発起人 田中幸太郎は、小学4年生から17年間「レスリング」に打ち込んできました。のちに日本一を経験しロンドン&リオ五輪を目指すも国内予選で夢破れ27歳で引退。その後、神奈川県葉山町で、NPO法人オーシャンファミリーに出会い5年余。葉山の豊かな海や山、そして共に活動する子どもたちや保護者の方々と出会い、私は人生の柱となるキーワードを見つけることができました。「自然の偉大さ」「子ども達の可能性」そして、「葉山 LOVE」です。その想いを形にしたいと考え、2023年4月、日本初となる「ビーチレスリングクラブ」を創立しました。殴らない、蹴らない、極めない。誰でもできる紳士な取り組み合いです。練習場は葉山の美しいビーチ。また現在、2028年ロサンゼルス五輪では「女子ビーチレスリング」が正式種目入りする機運も高まっています。

格闘技、特に小さな子ども達へのコンタクトスポーツは比較的参加障壁の高いスポーツだと思います。しかしこの新スポーツ「ビーチレスリング」は怪我や故障の可能性が少なく幼少期から行うコンタクトスポーツとしては非常に適しております。また会場は砂浜。どこでもいつでも楽しめるのもこのスポーツの魅力です。

2. 目標

- ・丈夫なココロとカラダをつくる

- ・海や自然が好きになる

練習場、大会会場であるビーチのゴミは当然拾う必要があります。また練習の一環として海、砂浜、漂流物を活用、山での走り込みなど、道具よりそのままの自然を活用したトレーニングを行うことで、自然に対するリスペクトを身をもって学びます

- ・葉山から世界へ

まだ競技人口の少ないスポーツです。誰にも世界へ羽ばたくチャンスがあります。この葉山から世界で活躍する人材を輩出することを目指します

3. 活動状況

毎週木曜日、葉山大浜海岸で定期練習会を行っています。既に40回を重ね、体験者参加者は延べ250名。クラブ会員は、下は5歳から45歳まで総勢18名となりました。指導者は私をはじめ、参加者のご両親、ボランティアメンバー、レスリング部 OGOB に支えながら活動を続けています。参加した子供たちは“身体を自然の中で動かす楽しさ・スポーツの面白さ”を感じ、未来のアスリートを目指し、日々トレーニングを重ねています。

4. 今後について

現在、クラブメンバーは徐々に増えており、更に活動を拡大していくため任意団体のままでは責任の所在があいまいであり、自治体、その他団体との協働にも限界があります。また当クラブの活動が、広く地域住民の参加を促すためには、堅実な組織と財政基盤を確立し、外部に対しても透明性と公共性を備える必要があります。そのためにはNPO法人として地域に信頼される法人組織になることが最善であると考えました。NPO法人化以後は、「ビーチレスリング」を軸に活動範囲を広げ、年齢・性別・国籍・特性など一切関係なく、子どもから大人まで一緒に地域住民が気軽に参加できる様々なスポーツの振興を図ります。まずは、「ビーチレスリング」という新スポーツの普及啓蒙のための体験会の開催、他団体との合同練習、地元葉山での「ビーチレスリング」大会の開催を計画していきたいと思っております。

2024年1月27日

法人の名称 NPO法人葉山ビーチレスリングクラブ
設立代表者 田中 幸太郎